

医薬経済・イノベーション評価研究会（略称：キャノンHTA研究会）

2014年12月17日（水）開催 第27回研究会 議事録

I. 講演「ICER と財政上のインパクトの関係について」（本邦初演）

東京大学公共政策大学院特任教授・キャノングローバル戦略研究所研究主幹 鎌江伊三夫

鎌江より、去る本年9月の北京 ISPOR 時にポスター発表された自身による研究について、その理論的な概要を説明した。経済評価エビデンスを医療費コントロールの指標とする場合は、ICER だけの評価では不十分で、財政へのインパクトを合わせて考える必要があること、またその定式化がどのように行われるかについて理論式の展開など詳細な解説を行った。さらに、その理論にもとづいて、具体的な計算がどのように行われるか、研究会メンバーは練習問題を通じて学んだ。

II. 中医協論議のアップデート

次回開催予定は 2015 年 1 月 28 日

文責：研究会メンバー、鎌江